

調べものの部屋には、中高生が調べものをするのに役立つ本など約1万冊があります。その中から3か月ごとにテーマを決めて選んだ本を、ウェルカム展示として入口で紹介しています。

※このリストは、展示時点で担当者が選んだものであり、テーマに関する網羅的な資料リストではありません。

テーマ：**数** すう・かず

「数」の概念は人類の歴史の中で生まれ、育まれてきました。身の回りのどこを見渡しても「数」とつながりがあります。長さ・重さ・時間・速さなど、すべてが数で表され、測ったり、比べたり、分析したりすることで人類は文明を発展させました。

▶ リストの見方

No.	書名 著者名(出版者, 出版年)【請求記号】	【 】は調べものの部屋の請求記号で、日本十進分類法 (NDC) を元にしてしています。
-----	---------------------------	---

▶ 数字と数

1	ずかん数字：見ながら学習調べてなっとく 清水洋美 編著, 中村滋 監修(技術評論社, 2019)【410】	私たちのまわりは数字でいっぱいです。アラビア数字、漢数字、ローマ数字など、多くの種類があります。古代から現代までの様々な数字を集め、その当時の人々が数字をどのように使用していたのか、文明とともにどう発展したのかわかりやすく説明しています。
2	数の「発見」の物語 (岩波ジュニアスタートブックス) 宮崎弘安 著(岩波書店, 2025)【410.2】	この本のタイトルの「数」は「かず」ではなく「すう」と読みます。「え？かずとすうって違うの？」と驚くかもしれません。算数や数学というと難しく感じてしまう人もいますが、「すう」とは何かについて、気軽に読める1冊です。

▶ 数を考えた人

3	フィボナッチ：自然の中にかくれた数を見つけた人 ジョセフ・ダグニーズ 文, ジョン・オブライエン 絵, 渋谷弘子 訳(さ・え・ら書房, 2010)【410.2】	フィボナッチ数列を発見した、西洋の優れた数学者の一人、中世イタリアの「レオナルド・フィボナッチ」の生涯を描いた絵本です。絵の中に隠れている数列をさがすのも楽しい1冊です。
4	円周率の謎を追う：江戸の天才数学者・関孝和の挑戦 鳴海風 作, 伊野孝行 画(くもん出版, 2016)【414.1】	明治時代に西洋の数学が入ってくる前にも、日本には「和算」という算術がありました。小学校の算数の教科書にも登場する、日本の数学者関孝和。江戸時代に円周率を解き明かそうとした彼の生涯を描いています。

▶ モノを測る

5	人類が生み出した「単位」という不思議な世界 (SUPERサイエンス) 齋藤勝裕 著(シーアンドアール研究所, 2023)【609】	個数では数えられない長さや重さなどを測るために人類は「単位」を生み出しました。単位は国や地方、時代によって多種多様であり、その歴史や体系及び、日常的な単位から科学的な単位まで紹介しています。
6	ニッポンのサイズ図鑑：イラストでわかる 石川英輔 原作, 淡交社編集部 編(淡交社, 2020)【609】	日本には昔からの独特の単位がたくさん存在します。距離を示す「里」、お米をはかる「合」、時間は「刻」など現在も使われているものもあります。楽しく単位の種類やその由来を知ることができる1冊です。

▶ 時を測る

7	時間とは何か 池内了 著, ヨシタケシンスケ 画(講談社, 2008)【421】	1秒、1分、1時間、1日、1月、1年。人類は時を測るために様々な時計を発明しました。でも時間とはそれだけでしょうか。過去から現在、未来へと流れる時間の不思議と歴史についてこの本は語っています。時間とは何かを考えてみませんか。
8	はじめての考古学(ちくまプリマー新書；389) 松木武彦 著(筑摩書房, 2021)【210.02】	考古学の研究対象はヒトです。人そのものや人が作ったものを研究します。そこで重要なのが、「いつ」のものなのかを明らかにすることです。年代を数値で知るために、年輪で年代を決める、化学で年代を決めるなどの方法を説明しています。

▶ 生き物と数

9	素数ゼミの謎 吉村仁 著, 石森愛彦 絵(文藝春秋, 2005)【486.5】	アメリカにいる「素数ゼミ」と呼ばれるセミは、13年と17年周期で特定の地域で大量発生します。セミはどうして年数を認知できるのでしょうか。13と17という素数とこのセミの生態の謎を、研究者が氷河期からの進化の過程や数字の不思議とともにわかりやすく楽しく紹介しています。
10	分かちあう心の進化 (岩波科学ライブラリー；274) 松沢哲郎 著(岩波書店, 2018)【489.9】	長年チンパンジーの研究をしていた著者が携わった「アイ・プロジェクト」の中で、チンパンジーのアイにアラビア数字を教えました。そしてアイが世界で初めてアラビア数字で数を表現できるようになったことを紹介しています。